

道づくりだより

第30号

2010. 8 島根県道づくり調整会議



主要地方道 川本波多線 志学工区 開通

CONTENTS

1. 主要地方道 川本波多線 志学工区 開通！
2. 朝山農道「ほたる橋」に絵を描きました
3. 平成22年度「道路交通センサス」の実施について
4. 山陰自動車道（益田～萩間）整備促進大会
5. 「山陰道夢パンフ出前講座」
6. 高速道路整備に大きな期待（しまね web モニター）
7. 道路愛護等に努めた方々が表彰されました



神々の国しまね
古事記 1300年

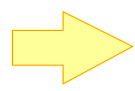
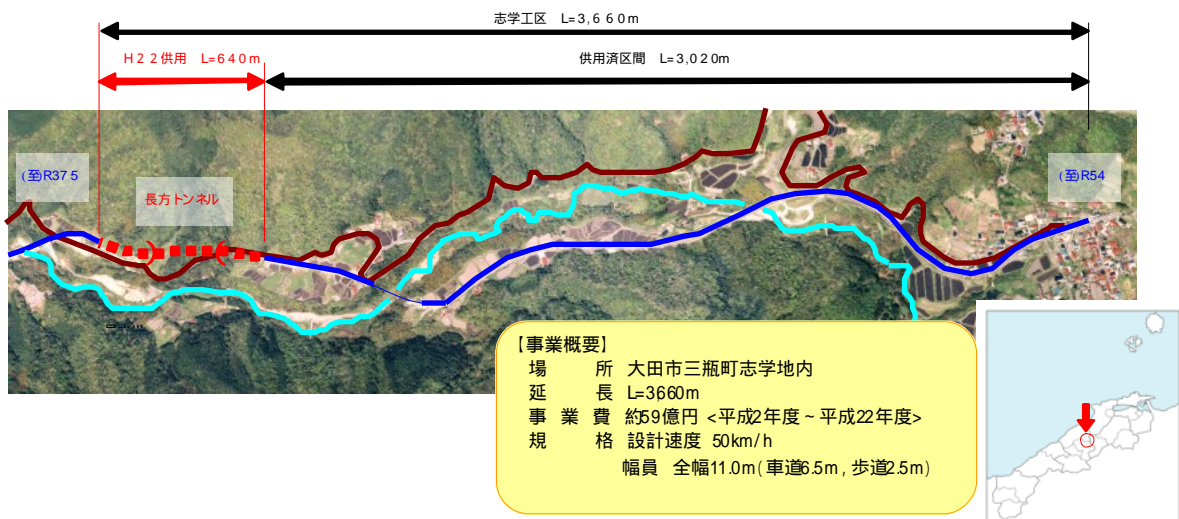
主要地方道 川本波多線 志学工区 開通！

主要地方道川本波多線は、川本町川下の国道261号と主要地方道温泉津川本線との交差点を起点とし、美郷町～大田市～飯南町を経由して雲南市掛合町の国道54号に至る全長約44kmの道路であり、島根県中央部の中山間地域を東西に結ぶ幹線道路です。

このうち志学工区については、平成2年より着手してきましたが、長方トンネルを含む最後の未供用区間(640m)が、平成22年8月8日に開通しました。

この開通により、美郷町の国道375号から雲南市の国道54号までの23km間は、全て2車線の整備が完了することとなり、大幅な移動時間の短縮が実現し、安全性や利便性の向上が図られるとともに、沿線地域の経済の発展が期待されます。

また、沿線には、国立公園三瓶山や江川水系県立自然公園、世界遺産「石見銀山遺跡」などの文化・観光施設があり、これらと連携することにより、交流人口の拡大や定住の促進に大きく寄与するものと期待されます。



「ほたる橋」の概要

橋 種：鋼桁橋
橋 長：34m
幅 員：6m

「ほたる橋」の橋名は、この地域で毎年6月頃にホタル祭が開催されるなど、蛍の名所であることから地域の皆さんが名前を決められ、橋名板へは地域の子どもたちが揮毫しています。

「ほたる橋」へのお絵かきのようす

朝山農道についてのお勉強



とても暑いなか、皆さん熱心に描いていただきました



みんなで記念写真を撮りました



朝山農道が完成すれば出雲の街へ出るのも楽になるなあ～



描いていただいた絵は舗装工事が終わると、見えなくなってしまいますが「ほたる橋」を渡るたびに「この下にみんなで描いた絵があるんだなあ」と思い出していただければと思います。

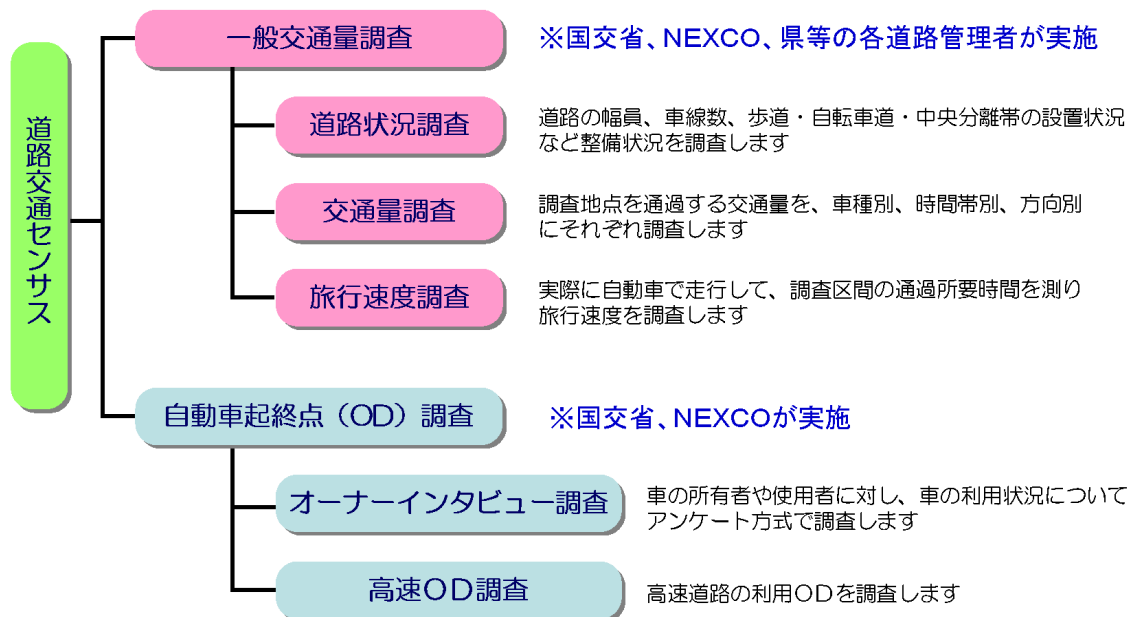
平成 22 年度「道路交通センサス」の実施について

平成 22 年 9 月 ~ 11 月に「道路交通センサス」を実施します。

調査のご協力をよろしくお願いいたします。

？ 道路交通センサスとは

道路に関する「国勢調査」で、道路や道路交通状況を全国的な規模で調査します。



※ODとは、Origin (起点・出発地) と Destination (終点・目的地) の略で、交通量調査では把握できない自動車交通の出発地、目的地、移動目的、1日の移動状況などを調査するものです

？ 調査の目的は

- 将来交通需要推計
- 将来の交通量の予測を行い道路事業の事業評価等を実施
- 道路計画の立案
- 新規道路の計画や改良の計画に活用
- 様々な道路状況の把握
- 地球環境温暖化、道路の管理のための基礎データとして活用

~ お願い ~

交通量調査は各調査地点で、道路脇や歩道で一般交通に支障のないように実施しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

国交省が実施する OD 調査は、自動車の登録情報から無作為に選定された方を対象に訪問等での調査が予定されています。また、NEXCO が実施する高速 OD 調査は、インターネットによるアンケート調査が予定されています。

将来の交通計画のための重要な調査ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

山陰自動車道(益田～萩間)整備促進大会 が開催されました。

平成 22 年 8 月 9 日(月) 山口県萩市農協会館にて「山陰自動車道(益田～萩間)整備促進大会」が開催されました。会場には山口県知事をはじめ約 200 名が集結し、島根県からも副知事、議会(議長・議員)、および土木部長が来賓として出席しました。

大会では、国道 191 号では 7 月の豪雨により 7 日間にわたる通行止めがあったこと、益田～萩間は未だ予定路線で日本最大のミッシングリンクであること、萩・石見空港へアクセスする道路事情が極めて悪いこと等についての意見が交わされ、国道 191 号が抱える課題を解消するためにも、予定路線である山陰道(益田～萩間)を早期に事業着手するよう国に求める大会決議が議決されました。



大会で挨拶する松尾副知事

県内高速道路整備を推進する女性の会で「山陰道夢パンフ出前講座」を実施しました。

県内に組織されている 3 つの高速道路整備を推進する女性の会で「山陰道夢パンフ出前講座」を実施し、出雲、江津、浜田の 3 会場、延べ 43 名の方に参加いただきました。「私たちの住むまちにもし高速道路があったら」というテーマのもと、KJ法を用いて参加者一人一人の高速道路整備に対する思いや夢を語り合いまとめる作業を行いました。

産業や観光の振興による町の発展を期待する声、交通事故の減少や救急病院への時間短縮を望む切実な思い、旅行に行きたい、買い物に行きたいといった女性ならではの夢、さらには山陰道を一日も早く全線開通させてほしいという強い要望など様々な意見が出されました。

今後はここでまとめられた成果をもとに「山陰道夢パンフ」として整理し、各女性の会の様々な活動に活用される予定です。

山陰道(温泉津・江津間)の早期建設を促進する女性の会
平成 22 年 7 月 22 日(木) : 13 名



「夢がつながる山陰道」

山陰道(出雲・江津間)の早期実現推進協議会女性会
平成 22 年 8 月 3 日(火) : 14 名



「道がつながり豊かな生活」

ゆうひライン女性の会
平成 22 年 8 月 5 日(木) : 16 名



「つなげれ道路 羽ばたけ石見」



「幸せの道(みち)」



「私達の夢を早々に」



「つながると元気が出るよ山陰道」

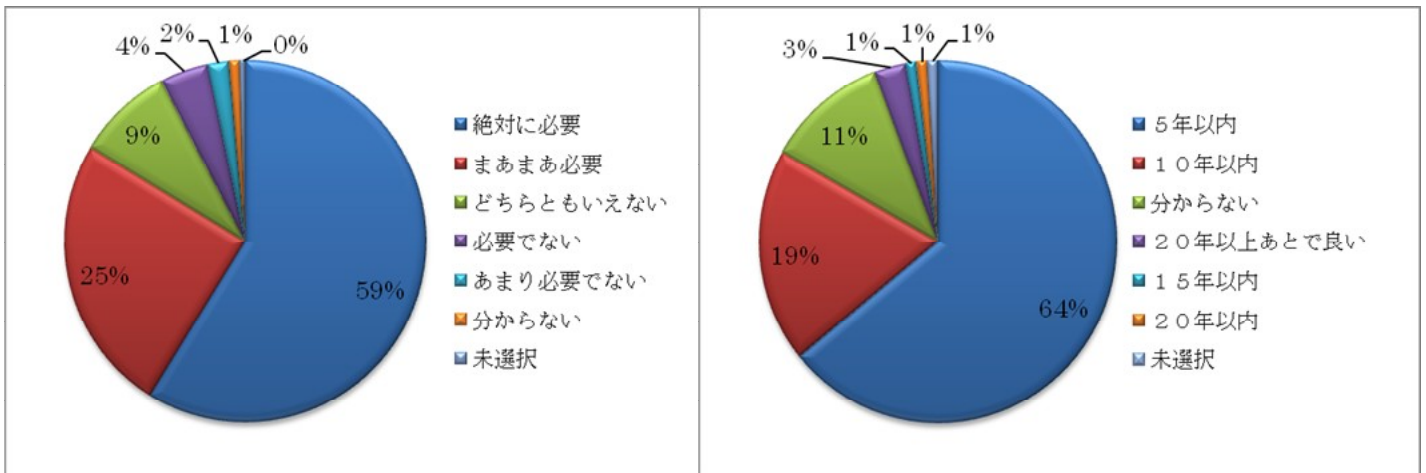
県民の皆さんの声（しまね web モニター）

高速道路の早期整備に大きな期待

島根県では、県民の皆さんのご意見を県政に広く反映させるため、インターネットを使ってアンケートに答えていただく「しまね web モニター」制度を設けています。このほど、「島根県的高速道路」に関する調査結果がまとまりましたので、その一部を紹介します。

Q. 今後県内の高速道路整備を進める必要がありますか？

Q. 山陰道や尾道松江線はいつ頃までに完成してほしいですか？



<< 自由意見（主なもの） >>

島根の道路状況はまだ発展途上！

他県では、当たり前に使われる高速道路が島根では未だ身近ではない。道路状況は発展途上だ。生活、仕事、レジャーなど高速は欠かせない。他県との繋がりが濃密になるよう、高速道路網を發展させ、往来が活発化することを願う。

迂回路がなく困った！

これまで交通事故や落石、工事などにより、国道9号が通行止めになり、迂回路がなく、渋滞に巻き込まれたことが何度もある。

交通事故が起きても迂回路がなく、処理が終わるまでその場に足止めされた。

仙山峠での交通事故で通行止めになり、予定の飛行機に乗り遅れた。

医療環境の向上に不可欠！

救急搬送の手段：命を守るため田舎ほど必要では？

医師の不足が伝えられる。根本的な手立てをとることも先決だが、高度な医療が必要な患者の救急搬送のためには高速道路が必要。

母親が倒れ、松江から大田の病院に毎日通ったことがある。一般道の往復は精神的・肉体的に大変疲労する。

産業・観光振興のために！

山陰道の開通により、観光路線がつながる。所要時間が少なくなれば、観光スケジュールも多様になる。

地方の負の要素をカバーできるのは高速道路である。産業の誘致・活性化・観光の振興等大きな動力源。

東西に長い島根県では、高速道路の未整備は企業や観光客誘致の面で致命的。

調査期間：平成22年7月16日（金）～7月25日（日）

モニター対象：331名　うち回答者数：209名

調査結果は下記の島根県広聴広報課ホームページにも掲載されています。

URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/kochokoho/webmoni/>

道路愛護等に努めた方々が表彰されました



8月23日、県庁知事室において、「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」の伝達式と「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」の授与式が行われました。

～国土交通大臣表彰～

国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」中に「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」という名称の国土交通大臣表彰を行っています。島根県からは3団体が表彰されました。



受賞の皆様

わなきしんわかい
和名佐親和会 (松江市)

郷土の美化活動と社会奉仕を目的に、植樹帯の草刈、サツキや平戸ツツジの剪定等を実施。また、年間2回、小・中学校生徒約10名とともに花壇の美化活動を行っており、次世代に美化活動や社会奉仕の重要性を伝え、高齢者が率先して地域に貢献しています。

構成人員：老人会有志 23人
年間作業日数：15回
作業場所：県道海潮穴道線の交差点花壇
従事年数：15年



はまだしりつうしろのしょうがっこう
浜田市立後野小学校PTA(浜田市)

PTA、教員、児童ら学校全体でガードレール・カーブミラー掃除、空き缶やゴミ拾いなど道路美化活動に取り組んでいます。また、環境教育の場にもなっています。

構成人員：50人
年間作業日数：5回
作業路線：浜田八重可部線
作業延長：2.7km
従事年数9年



まえねば どうこうかい
前根波フラワー同好会(雲南市)

20年にわたり、地区一体となって県道の美化・清掃活動を続けています。過疎・高齢化が進む中、地元の子どもたちと共に熱心に活動を継続しています。

構成人員：16人
年間作業日数：7回
作業路線：出雲奥出雲線
作業延長：2.3km
従事年数 20年



～ 島根県知事表彰 ～

島根県では、「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」という知事表彰を行っています。道路部門では、長年の功績を称えられた5団体が表彰されました。

受賞の皆様

うしたにせいふうかい
牛谷清風会(浜田市)

自治体をあげて子どもから大人まで取り組んでおり、他地域の模範となっています。

こづじちかい
小津自治会(出雲市)

多年にわたり、道路だけでなく河川・港湾などの美化・清掃活動も実施しています。

いんべけんどう
忌部剣道クラブ(松江市)

清掃活動を通じ、子どもたちに社会貢献や美化活動の重要性を教えています。

まな いけんどうくさかりたい
真名井県道草刈隊(松江市)

「歩行者も運転者もよりハッピーに」との思いから、歩道隙間も丁寧に除草するなど、精力的な活動を行っています。

かみこうぶ くみあい
上講武トラクター組合(松江市)

工事車両の通行が多い区間の除草をしており、草刈により通行者への安全に大きく貢献しています。

